

大切な自然

パートII

甲賀市内の大切な自然が存在する地域について紹介します

●第12回●

甲南町・浅野川上流域の里地



甲南町の柑子、野川、馬杉とその周辺域は、数多くの希少な動植物が確認される市内でも重要な里地の自然が残る地域です。

浅野川の魚には、ドンコやヌマムツなどに交じり、アブラボテというタナゴの仲間が見られます。マツカサガイという二枚貝の中に産卵するおもしろい習性の魚です。

田んぼやため池には、メダカその他、トノサマガエルや、ニホンアカガエルなど日本古来のカエル類が豊富で、貴重なトンボやゲンゴロウ類、水草も発見されています。

田んぼや人家の裏手の、雑木林の裾にある草地には、秋の七草のオミナエシを始め、リンドウやイヌセンブリなど草地の植物が豊かです。

こうした里地の自然は、稲・畑作、草刈、炭焼き等を通じて、人が永い間、緩やかに関わり続けた結果に形成された、半人工的な豊かな自然です。しかし近年、多くの里地では、人の関わりが無くなり放棄され、急激な人工的整備や化学処理がなされたため、里地の動植物の多様さ・豊かさが失われ、単

調化しつつあります。

※里地の自然は、地域の方々の住宅や農地に隣接しているため、人の土地にむやみに入らないよう、十分な配慮が必要です。



アブラボテ

10月の休園日 6日(月)、14日(火)、20日(月)、27日(月)

みなくち子どもの森自然館 ☎ 63-6712 FAX 63-0466

甲賀市文化協会連合会文芸欄

今回は、甲南町文化協会からお寄せいただきました。

かたつむり俳壇

- ・アイスキャン六甲おろしの中に居て
- ・母の手を取りて導く片かげり
- ・水引の紅ほのかなり行者徑
- ・合歓の花細き夕月沈む空
- ・麦の秋刈られし跡の鳥溜り
- ・子燕に廂貸したる駐在所
- ・山蟻の山知りつくしたる動き
- ・片蔭へあとの一步に湧く力
- ・日の落ちて蜘蛛の網張る早さかな

鹿深句会

- ・夕景の風となりゆく罌粟の花
- ・白もまた燃ゆる色なり花菖蒲
- ・瓜の花人遠避けて人恋し
- ・身勝手な嘘一つあり雲の峰
- ・曇り空押し上げ開く濃紫陽花
- ・築打って逆らう水の重さかな
- ・掌から掌へ渡す螢が掌を照らす
- ・我もまた一つの闇や螢の夜
- ・ウエーブして杜にすわるる青田波

次回(12月1日号)は、甲賀町文化協会の予定です。

- 田中 みつを
- 田中 美由紀
- 柄川 由紀子
- 松井 まつ
- 木村 テル
- 吉福 さとし
- 藤田 啓子
- 土田 衣章
- 井上 マスエ
- 村上しげとし
- 寺井 昭一
- 吉永 ひろし
- 立岡 由子
- 数井 ハルコ
- 田中 美由紀
- 中川 杜子圃
- 若松 司
- 吉福 さとし